RIPPLE SAILING CLUB
NO.96

月刊 1990・9・15

RIPPLE

（発行）　500円
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
TEL 0468−57−1711

本当に久々のリプルカップ

去る9月9日（日）久々のリプルカップが参加艇13艇で行われた。無風状態から徐々に安定した4−5m／sの南の風になった中、まだまだ真夏のような晴れ渡った長浜の海に、皆思い思いに闘志を燃やしたのである。

いつもだと11：00スタートであるが、風が無いこととマーク打ちに時間がかかり第一レースは11：30のスタートとなった。

第一レース、皆気合いが入りすぎていたためか通研小池のシバー状態のホッパーを後目に4−5艇がリコール気味のスタートなのだ。
第一上に向かう選手はリプルの至宝長谷川（夫）に引っ張られた各選手はスタボーでラムラインいっぱいのラインを引いてのレース展開となったのである、が「レースでは人の意見なんかきかんもんねー」という我が道を行く、かつて最多出艇者賞に選ばれた吉田選手はすぐさまポートタックでのアプローチだ。それが効を層したのか僅かの差でハッシーをかわしてトップで上マーク回航となった。そして、あせったハッシーはマークタッチをし更にその差を広げたのである。その差2艇身。

そして、正に第一レースは両艇のマッチレースの様な展開になった。坦々と生まれて初めてトップ走る吉田艇を追うかっての国体選手はジャイブ、思いきったコース取りとあらゆる手段を使って追撃するものの、満身の笑顔で大きく右手でガッツポーズをとり、悠々とはっしーを振り切りライン切ったのは苦節2年の吉田選手であった。　そして、笑わせてくれたのが通研Y−15の高田艇、なんとよそのレース海面に行っていたとの事。ガク！

そして第2レース、2度もケースを起こされてしまい、すっかりやる気の無くなった吉田艇を後目に、本領を発揮した長谷川艇は最初からがんがん飛ばし多艇を寄せ付けずといった感じであった。
また、いつも藤村艇が起こす何でもないところでの沈をライン3艇身前で小林艇が引受け、当の藤村艇は悠々と2着に入ったのである。また、レースは初めてという木村艇が、毎週の練習の成果が実り3位に入ったのである。

そして迎えた第三レース、はっしーの調子がいまーと視たS氏は吉田艇を借りての出場であったが、既に感を取り戻していて難なくラインを切ってしまうのである。
また、今回初出場の石亀、桧山、風巻、内藤の各選手も着実にコースを回り切り今後に期待を持てる走りをしてくれました。

それにしても、吉田、木村、S氏とおじさん連中が頑張った世代後退（？）のリプルカップであった。

また、レース終了後はアルバイトの鈴木君の最後の日ということもあり、リプル御用達の八千代寿司になんと18名も押しかけ、殆ど貸切りの状態で、レースの事とか鈴木君の船出の事とかの話で盛り上がったのである。

次のリプルカップは10月14日（日）です。

リプル・カップ成績表
天気−晴れ　風向−SE→S　風速−1m／s→5m／s

順位	氏名	1st	2nd	3rd	t-p
1	長谷川（夫）	3	1	1	4.5
2	吉田	1	4	3	7.75
3	藤村	4	2	2	8.0
4	山崎	2	7	6	15.0
5	小池	5	6	4	15.0
6	木村	10	3	7	20.0
7	西村	12	5	5	22.0
8	小林	6	8	9	23.0
9	風巻	9	10	8	23.0
10	檜山	7	9	12	28.0
11	石亀	8	11	11	30.0
12	内藤	11	12	10	33.0
13	高田	12	13	13	38.0

第3回湘南カップ　10月28日（日）

来る10月28日（日）第3回湘南カップが行われます。
この大会はセーリングスポット連絡会が秋のイベントとして行うもので、正に関東地区におけるディンギーの王者は誰か？というビックなレースに成ってきております。
第1回大会では、出場総数104艇中我がリプルの長谷川篤が栄えある初代優勝者となっており、上位陣は国体経験者、ワールド経験者とかなりのハイレベルの選手が顔を出すレースです。　が、しかしサンデーセーラーが圧倒的に多く、お祭り気分のレースには変わりは無いのである。
今年の大会はマス媒体を使い参加定数200艇を目標にしています。
また、過去2回の大会と若干変更部分が有りますので、抜粋してお知らせ致します。
変更部分は大きく3箇所有ります。

1、総合優勝を無くしクラス別の表彰となります。
　各クラス5艇以上の1位を表彰し、20艇以上のクラスを1−3迄表彰。
2、スタート時刻が下記の様になります。
　10：00第一レース　（マルチハル、及びその他）
　10：10　〃　（ホッパー及びレーザー）
　12：30第2レース　（マルチハル、及びその他）
　12：40　〃　（ホッパー及びレーザー）
　15：30表彰式及びパーティー（雨天、初声市民センター）
3、予備日無し
　エントリーフィーの返却無し。（パーティー費に振替）

尚、申し込みは10月22日（月）迄にシングル4、000円、スループ6、000円を添えて各スポットに申し込んで下さい。

次回の月刊リプルにて大会要項、帆走指示書をお知らせ致しますが、アバウトで良ければVol．84をご覧下さい。

一夏の思い出

1　台風10号の接近に伴い海の家の屋根が飛び潮美亭の屋根をかすめ外人のアパートに突き刺さる。
2　花火の失火で合宿中の横浜市立大の470が炎上。（どんな尺玉を使ったのか不明）
3　ジェットスキーの全面禁止を長井漁協を通じ県の水産課に陳情する。
4　ゴミの後始末の悪さに耐えかねた地元住民の怒りがついに爆発し、岩場のキャンプ場が今年限りで車の乗入れが出来なくなる。
5　S氏、お水っぽい通称3時までのシンデレラをナンパするが見事に振られる。
6　クラブハウスにファックスが設置され、リプルのOA機器が更にバージョンアップする。
7　K氏未だ真夏。